

事務事業名	コード	22900 米の力再発見事業	予算科目	会計	款	項	目	担当課	農水産課	担当班	振興班
基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	一般	6	1	3	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 (重点施策) 画1	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画
施策の展開	1	農畜産物の生産振興	戦略事業	2	米の力再発見事業				<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開			戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 21 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・旭市まちおこし産品推進協議会は農商工関係者により構成されており、米の新たな利用方法として米粉の推進を行っている。 ・旭市産米を使った米粉の利用拡大を進めるため、その利用法を掘り起こし農業者と商工業者が連携して製造・商品化を進める。 ・商品開発、販売促進、需要喚起のためのPR活動をし、本格的な米粉普及へ向けた取り組みを行う。 ・活動内容は、各種イベントや料理教室での実演・試食などのPR、米粉利用促進のための学校給食へ米粉提供、レシピ集の作成、米粉製品開発取り組み業者の新規開拓と米粉提供を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・食生活の多様化により米の消費量が減少傾向にあるため、米の消費拡大に向け新たな利用法として米粉の普及に取り組んだ。	道の駅において市内産の米粉販売が行われ、売れ行きも好調であり、米粉の認知度が高くなった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・商業者：米粉と小麦粉の価格差が大きく、商品化をしても継続して消費者に受け入れられるか難しく本格的には取り組めない。 ・学校給食担当課：現在米粉の提供を受けて実施している活動(給食等)は費用負担してまでは継続できない。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.負担金補助及び交付金	517:米の力再発見事業補助金	533	546	396	517	640
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

前年度増減理由	協議会が制作している米粉製品パンフレットの改訂版の制作をした為、作成費用分補助金が増
---------	--

事業費の内訳	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.負担金補助及び交付金	533	546	396	517	640
事業費計(A)	533	546	396	517	640
1.国庫支出金					
2.都道府県支出金					
3.地方債					
4.その他					
5.一般財源	533	546	396	517	640

従事職員数	常時	2人	最大	3人	×	9日	=	延べ	27人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	-----

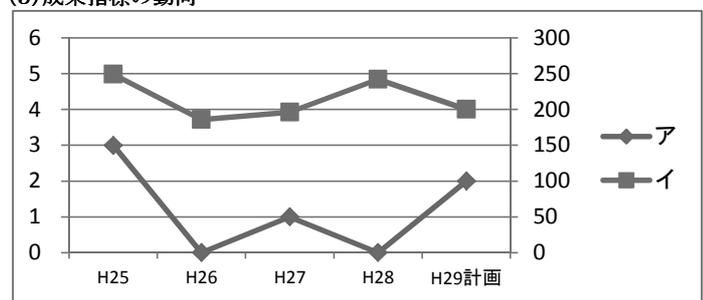
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・旭市まちおこし産品推進協議会会議の開催 ・料理教室の開催、米粉の助成 ・学校給食への米粉提供 ・米粉製品のパンフレット作成 ・PR活動(旭市産業まつりへの出店)	ア 新たに米粉商品の開発・販売に取り組む事業者数 イ 料理教室開催数(協賛・米粉助成含む)	6	0	1	0	6
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象農業者 商工業者 意図 米粉用米の生産者が継続して生産を行うことができ、商工業者が市内産の材料を使った商品を開発・販売することができる。また、市民が主食以外の米を食することができる。 対象市民 意図 米粉の利用方法を紹介し、米粉の認知度を上げるとともに、家庭における米粉の利用促進を図る。	ア 米粉・米粉商品の商品化数 イ 料理教室参加者	3	0	1	0	2

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	下位 1/3	(4)
	普通	かなりある		中位 1/3	
	小さい	ある程度ある		上位 1/3	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	・旭市産米粉の価格が高価格であることを含め、小麦粉と比較して大きな利点がないことにより、新商品の開発を試みる事業者が少ない。 ・米粉の利用を推進している「旭市まちおこし産品推進協議会」の会員数の減少により、活動内容や回数に限られているため、新規入会者を増加する必要があるが、現状維持となっている。
② 成果の状況	成果指標A 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標I 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項(29年度に取り組む主な事項について記載)	時期 年度内 内容 ・市内商業者等に対し、新商品を開発する際の米粉の無償提供を継続し、引き続き、取組業者の掘り起こしを行う。 ・市民への米粉の周知活動について、周知効果の高い小学校の親子料理教室で米粉料理教室を実施する。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()